

Chubutsu Glocal Times

速に効率よく作業を進めていくには、先頭の手腕が何よりも決め手となるのだ。

自らの弱点と向き合いながら

以前テープラインを担当していたときは、自分を含めて2名で作業に取り組んでいた。5名で行っている現在に比べ、コミュニケーションが取りやすく、作業もスムーズに進められていたといふ。

「やっぱり人数が多いほど、コミュニケーションを取るのは大変になりますね。そう考えると、糊ラインの方が少し難しいのかもしれません」。

難しいのはコミュニケーションだけではない。具体的な例をあげれば、厚さ1、2ミリのゴムやウレタンのシートを、折らずに真っ直ぐラインに一枚ずつ乗せていく作業そのものが武川にとっては難しいものだつた。シートをたくさん積み上げてある中から一枚ずつ剥がすのも容易ではない。そのため一日の作業量としては以前と変化していないものの、作業時間は若干延びてしまつてゐるのが現実だ。効率をもっと上げていくことが今後の課題である。

糊ラインの先頭としては新米である武川は、まだ新たな業務に慣れておらず、上手くいかないときもある。そのたびに、以前先頭を務めていた同期や、作業に慣れている方と、2号機のラインを担当しているメンバーからアドバイスをもらい、仕事をこなしてきた。

入社した当初は、できないことがあるとすぐに諦めてしまう性格だったが、ベテラン社員たちに話を聞きつつ作業をするうちに、不良を出しながらも少しづつ工夫するようになつていった。アドバイスをくれた人のやり方を試すときもあれば、自分と似たようなやり方をする人を探して、その人の真似をしてみるとある。



失敗が自分を伸ばす力になる



これからも仲間と共に

「これまでの経験から、諦めずに挑戦する大切さを実感しています」。

いつか自分もベテランの先輩方のようにになりたい。そう思う気持ちが仕事へのやりがいに繋がっているのだ。

自分では、まだまだ仕事ができるようになつたという手ごたえを感じてはいる。今後の具体的な目標や将来の展望も今は特になく、まずは今任されている役割をきちんと果たせるようになることが最優先だと考えている。

そんな武川には、かけがえのない仲間がいる。入社時からどんなときも支え合ひ、励まし合い、同じ時間を共有してき

た同期たち。その存在があつたからこそ、この場所まで進んでこられた。

「日々大変なこともありますが、同期のおかげで楽しく仕事ができています。これまでの感謝と、これからも一緒に頑張っていきましょう」という気持ちを伝えたいですね」。

いつも真摯に仕事と向き合い、常に学ぶ姿勢を崩さずに、自らの実力を身につけてきた武川。今後の中央物産を担っていく一人として、更なる成長を遂げていくに違いない。



武川 大悟

化成品事業部 製造課 粘着班

2020年3月から、武川は粘着ライン一号機の先頭になった。担当は糊のラインで、4名と共に作業を行つていて。これまでテープラインの先頭や他の箇所を経験してきた武川が先頭になつた理由は、他のポジションである取り手は既に経験済みで、切り手と糊は他の人が担当することが決まつていたからだ。また、今後他の先頭の担当者が突然の退職や体調不良で不在となり、穴埋めが必要となつた場合に備えて、スムーズにそのポジションに入ることを可能にしておくためでもあった。

016年、株式会社中央

物産に新卒者として入社した武川大悟は、化成品事業部製造課で粘着班の業務を担当している。眞面目にコツコツと経験を積み重ね、確実に一步ずつ成長している武川の、日頃の活躍ぶりと仕事への取り組み方を探つた。

企業情報

- ◆設立年：1954年6月
- ◆年商：225億円

※2019年3月時点

武川大悟さんへの メッセージ

化成品事業部 製造課 粘着班の磯川さんと
鈴木さんから、武川さんへのメッセージを
いわざきました！

■第一印象

見た目からしておとなしそう、というのが第一印象です。同期入社5名のうち、私を含めた4名は同じ高校出身で、武川さんだけ違う高校出身だったので接点もなく、最初は何を話せばいいのか困惑しました。しかし、同じ部署に配属され話してみると、話しやすくて見た目とのギャップにとても驚きました（笑）

■忘れられない思い出

ある日「今日は定時に帰らないと！」と焦っていました。理由を聞くと、「新しいゲームが届くから」と楽しそうに言うのです。武川さんはもともとゲーム好きで、新しいゲームが届く前はよくソワソワしています。やってみて面白かったゲームがあると必ず「買って一緒にやろうよ！」と誘ってくれます。もともとゲームに全く興味がなかったのですが、武川さんに勧められるがままゲームを始め、今では通信や対戦をするまでになりました（笑）

■武川さんはどんな存在？

部署の中で一番仲が良い方です。とても優しいし、一緒にいて心地よいと感じます。入社してからずっと一緒に仕事をしていますが、5年目に突入した今では気の抜けない同期になりました。

■尊敬しているところ

文句を言いつつも、なんだかんだちゃんとやるところです。最後まできちんとやり遂げる姿が素敵だと思います。

■武川さんへのメッセージ

これからも末永くよろしく！

■第一印象

最初は、大人しくて打ち解けづらそうな人だなと思いました。3~4年一緒に仕事をしていますが、その中で彼の印象は大きく変わりました。色々な話ができる人で、今では粘着班にかなり馴染んでいます。

■忘れられない思い出

私は直接会話する機会はありませんでしたが、同期とは共通の話題などで盛り上がっていると聞いています。すぐに会社に溶け込んでくれたようなので安心したことを覚えています。

■武川さんはどんな存在？

頼れる部下です。私がアドバイスしたこともすぐに吸収し、その次からは同じミスを繰り返しません。また穏やかな性格をしているところが、彼の長所だと思います。

■武川さんへのメッセージ

私の班には26~27人いますが、若手は武川さんを含め4人しかいません。これからを担っていくのは君たちなので、ぜひ頑張ってください。よろしくお願いします！



化成品事業部 製造課

From 西尾 あきら
To 二村 達也

message

いつも相談に乗ってくれたり、仕事で行き詰っていると一緒にになって考えてくれたりして、ありがとうございます！！！改善提案のエクセル作成時にヒントをくださり、もっと分かりやすく表示できるところを教えていただきました。分からぬ部分や納得が行かない部分は一緒になって考えてくださいって、納得が行くまで追求することができました。お忙しい中、時間を割いてくださったおかげで、時間削減の改善提案を提出することができました。その他にも色々な面でとても親身になって話を聞いてください、嬉しい思います。これからもよろしくお願ひします。

化成品事業部 製造課

From 橋本 祐実
To 丸山 さやか

message

入社したばかりの頃の第一印象は怖いなって思っていたけど、段々一緒に仕事をしていくうちに、頼もしくて話しやすく、面白い人だと判明して、毎日がとても楽しいです。不具合を出してしまった時、一緒にどうして出てしまったのかを考えてくれました。また、失敗をしてしまった時は、怒らずにどうしたら良かったのかを指導してくれたので、次は頑張ろうと前向きになれました。まるさん、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

ありがとうを 伝えよう

多くの方が日頃から抱いているものの、
なかなか口と向かっては言えない感謝の気持ち。

今回はそんな「ありがとう」の言葉を
皆様からいただきました。

化成品事業部 製造 2 課

From 曽我 達也
To 可知 永吾

message

僕が高校を卒業し、18歳で中央物産に入社した時、チューピング班で最初に仕事の教育係として付いてくれたのが可知さんです。学生時代にアルバイトの経験も無く、仕事というモノを経験するのが初めてであった僕に対し、厳しくも丁寧に教育をしてくれました。可知さんの教育が今の僕を形成する一部となっております。その節はありがとうございました。

可知さんからは社会人としての心得を色々と学びました。僕がまだ仕事に慣れておらず、忙しくてパニックになっている時、可知さんに「状況はどう？」と尋ねられ、僕は「問題ないです」と答えました。実際はパニック状態でした……。可知さんはそれを察し、「今は勉強の期間だから、出来ない時は出来ないと言うこと。出来ると答えれば周りもそう認識して、もう教えてくれなくなる」とアドバイスをくださいました。班長である今はその教えを活かし、作業者のスキルを確認する際には本当に理解しているのかを重点的に見るようにしています。

総務経理部 総務課

From 可知 絵美
To 原 菜々子

心底楽しい笑いを提供してくれてありがとうございます♡
『思いやり』に気づかせてくれてありがとうございます♡
Xmasのサンタや節分の鬼さんなど、姪っ子ちゃんを本気で楽しませてあげているmovieが最高！本気すぎて笑えます！仕事面では雨の日に届いた荷物が濡れていた際、マイティッシュで拭いてから担当者に渡す姿に心打たれました。些細なことですが、相手に対する心遣い、私も大切にしたいと思います。

総務経理部 経理課

From 塚田 真衣
To 渡邊 朱美

化成品事業部で働いていた時、何度も助けていただきありがとうございました。分からないことがあって聞きに行くとアドバイスをくださり、私が仕事で手一杯になっていたら気づいてフォローブリードしました。しんどくて泣いてしまった時は、私が落ち着くまで話を聞いて励ましてくださり、支えてくれました。今でも部署が違うのに気にかけてくださり、本当に感謝しています。